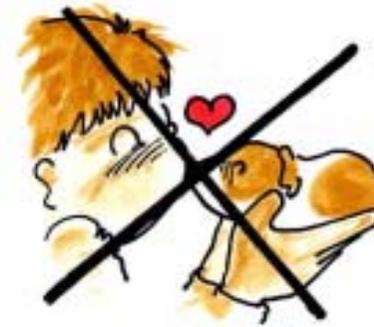


注意すること

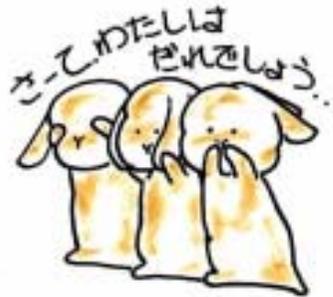


動物を健康に飼いましょう。
(毎日の食事とそうじが大切)

それぞれに名前をつけて、毎日の
ようすをよく観察しましょう。



口移しで食事を与え
ないようにしましょう。



動物を触った後は、必ず石け
んで手を洗いましょう。



ようすがいつもとちがっていたら、
獣医さんにみてもらいましょう。

動物からうつる病気と予防法 (教職員用)

動物	病名	原因	人の症状	予防法
うさぎ	ツメダニ症	ウサギツメダニ	ふけ、かさぶた	うさぎに対する治療(駆虫剤) 落下したうさぎの毛の処理
	ひふ糸状菌症	糸状菌(カビ)	水疱、かさぶた	うさぎに対する治療(ヨード剤、抗生物質)
	パストツレラ症	パストツレラ菌	咬み傷の激しい痛み 赤くなる、はれる 化膿(うみが出る) リンパ節がはれる	うさぎの口の中に菌がいるので、咬まれないようにする 咬まれたら、すぐに傷口を洗い消毒する 抗生物質による治療も有効
		吸い込むことから感染	かぜのような症状 肺炎	衛生的な飼養管理
モルモット	アレルギー	毛、ふけ、おしっこ	しっしん、結膜炎、喘息、鼻炎	モルモットとの接触をさける
	ひふ糸状菌症	糸状菌(カビ)	水疱、かさぶた	モルモットに対する治療(ヨード剤、抗生物質)
	かいせん	ヒゼンダニ	かゆみ、かさぶた、ふけ、皮膚の肥	モルモットに対する治療(駆虫剤)
ハムスター	リンパ球性脈絡髄膜炎	レプトスピラ	インフルエンザのような症状 髄膜炎	
	ひふ糸状菌症	糸状菌(カビ)	水疱、かさぶた	ハムスターに対する治療(ヨード剤、抗生物質)
	ヒゼンダニ	ヒゼンダニ	かゆみ、かさぶた	ハムスターに対する治療(駆虫剤)
	アレルギー	毛、ふけ、ダニ、カビ	しっしん、結膜炎、喘息、鼻炎	ハムスターとの接触をさける
	アナフィラキシーショック	咬み傷	呼吸困難、しっしんなど	咬まれないようにする
チャボ ニワトリ	ニューカッスル病	ウイルス ニワトリの咳、くしゃみ	結膜炎	ニワトリへのワクチン接種(家畜法定伝染病) 衛生的な飼養管理
	サルモネラ症	サルモネラ菌 感染しているニワトリのふん 感染している卵の生食	食中毒 おうと、はらいた、げり 発熱、急性腸炎	ニワトリへのワクチンはない(家畜届出伝染病) ふんの始末、手洗い なまの卵、古くなった卵は食べない
	カンピロバクター症	カンピロバクター菌 感染しているニワトリのふん 感染している卵の生食	食中毒 おうと、はらいた、げり(血べん) 発熱、急性腸炎	ニワトリへのワクチンはない ふんの始末、手洗い なまの卵、古くなった卵は食べない
	オウム病	クラミジア ふん、鼻汁、羽毛、ほこり 吸い込むことから感染	かぜ、インフルエンザのような症状 高熱、頭痛、筋肉痛、関節痛 心膜炎、心筋炎	衛生的な飼養管理(こまめにそうじする) 野鳥が入れない小屋にする(野鳥から移るので) そうじ中にほこりを吸い込まないようにする 感染したニワトリの治療(抗生物質)
	ワクモ、ダニ、シラミ	ワクモ、トリサシダニ、ハジラミ	かゆみ、かさぶた、ふけ、皮膚炎	ニワトリに対する治療(駆虫剤)

<注意すること>

- ・動物を健康に飼いましょう。(毎日の食事とそうじが大切)
- ・動物を触った後は、必ず石けんで手を洗いましょう。
- ・口移して食事を与えないようにしましょう。
- ・それぞれに名前をつけて、毎日のようすをよく観察しましょう。
- ・ようすがいつもとちがっていたら、獣医さんにみてもらいましょう。